

2022年度 神戸ベルエベル美容専門学校
トータルビューティ科エステティシャンコース カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業
エステ	エステ理論	141	64	205	○
	アロマ理論	0	34	34	○
	接客販売心理学	34	0	34	×
	フェイシャル	168	180	348	○
	ボディ	174	179	353	○
	アロマ実技	46	0	46	○
	脱毛	6	9	15	○
	ヘッドマッサージ	15	0	15	○
	カウンセリング	25	12	37	×
	就職	71	3	74	×
	計	680	481	1087	-
実践	特別授業	5	4	9	×
	サロン	2	298	300	×
※コース選択 (メイク)	メイク理論	30	12	42	×
	メイク技術	132	86	218	×
	サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-
※コース選択 (ネイル)	ネイル理論	16	6	22	×
	ケアカラー	116	0	116	×
	ジェル	30	92	122	×
	サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-
選択 課目	HR	255	257	512	×
	マナー	60	10	70	×
	研修	30	0	30	×
合計		1194	1188	2382	-

※コース選択はメイク・ネイルのどちらかを選択。

基本情報			
講義名	エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	141	64	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。 また、検定の筆記試験において合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
概要	1	授業説明、検定の概要
エステティック概論の理解	5	エステティックとは、各国・日本のエステティック、セラピーの起源と定義 確認テスト
セルフケア ホームケア	2	セルフケア・ホームケアについて(ボディ編、フェイシャル編)
ボディ実技理論	5	ボディケアの組み立て、基本
フェイシャル実技理論	5	フェイシャルケアの組み立て、フェイシャルケア後のカウンセリング
皮膚科学	15	皮膚の構造、皮膚の生理機能、美しい肌のために 肌の老化とケア、トラブル肌と皮膚疾患 確認テスト
解剖生理学	16	人体のあらまし、成り立ち、細胞・組織・器官、免疫 骨格系、筋系、神経系、感覚器系 消化器系、呼吸器系、循環器系、血液 内分泌系、泌尿器系、生殖器系 確認テスト
心身生理学	6	脳神経の構造と働き、ホメオスタシス、ストレス、心と肥満の関り、スキントッチの効果 確認テスト
運動生理学	5	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動、代謝と運動、運動処方、運動の実際 確認テスト
化粧品学	9	化粧品の定義と役割基礎化粧品、メイクアップ化粧品ボディケア化粧品 芳香化粧品、化粧品の原料 確認テスト
栄養学	10	栄養学の基礎知識、健康と栄養、食品パワーの新しい可能性とその利用 確認テスト
エステティック カウンセリング	5	エステティックカウンセリングとはエステティックカウンセリングの基本 カウンセリングの実施
サロン マネジメント	4	エステティック業の役割、サロン運営 サロン繁栄のための顧客管理、サロンマネジメント、期待できるエステティック産業
エステティック 電気学・機器学	6	エステティック機器、電気学、生体と電気の関係 確認テスト
エステティック 関連法規	6	エステティシャンの仕事と法律、契約に関する法規、エステティック業界の自主基準 確認テスト
サロンでの 救急法 衛生・消毒	11	救急法の基礎知識、主な症状の手当てと病気、主な事故の手当て 公衆衛生 病原微生物 感染症、消毒・滅菌 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
美容脱毛学	5	美容脱毛学概論、毛髪学概論、毛の成長因子と美容脱毛、美容脱毛学者として知っておきたい病気の基本 美容脱毛における衛生管理、美容脱毛のカウンセリングの解説と板書 確認テスト
検定対策①	25	・皮膚科学、栄養学、化粧品学、解剖生理学、心身生理学(生命活動ホメオスタシス) 運動生理学、電気学・機械学、関連法規(業界統一自主基準)、衛生・消毒/衛生管理 サロンでの救急法、サロンマネジメント、エステティックカウンセリング例題集実施 ・フェイシャル実技理論、ボディ実技理論、ワックス脱毛実技理論例題集実施 ・筆記試験例題集より100問模擬試験
検定対策②	58	例題集実施、解答・解説 模擬試験実施 確認テスト
店販化粧品	4	美白、アンチエイジング、にきび、毛穴、痩身、リラクゼーション、目的別、化粧品の理解
肌別目的別スキンケア	2	肌別、目的、季節のトラブルとお手入れ解説、理解

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(アロマ理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	34	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	アロマセラピーはエステにおいて身体をリラックスさせ、美と健康を増進しそれを身体・精神両面からアプローチできる自然療法です。エステティックにおいても現在、その効果から重要なものであり多く取り入れられていることから、その理論・知識を当該授業で学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	アロマ実技の実技授業との連動も図りながら、アロマセラピーに関する基礎的な知識・理論を実践で活かせるレベルにまで到達させることを目標とする。 また、検定合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
検定内容 アロマセラピーの基本	1	アロマセラピー1級検定の内容、アロマセラピーの基本
きちんと知りたい 精油のこと 精油のプロフィール	2	精油の作用、抽出法、選び方、精油と環境の関係 イランイラン、クラリセージ、グレープフルーツ サイプレス、サンダルウッド
アロマセラピーの安全性、 実践 精油のプロフィール	2	安全に使用するための心得 アロマセラピーの機材、用具 ジャーマンカモミール、ジャスミン、ジュニパーベリー、スイートオレンジ
アロマセラピーの実践 メカニズム 精油のプロフィール	2	アロマセラピーの利用法 心身に伝わる仕組み、経路 スイートマジョラム、ゼラニウム、ティーティューリー、ネロリ
アロマセラピーとビュー ティ&ヘルスケア 精油のプロフィール	2	睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア パチュリ、ブラックペッパー フランキンセンス、ベチバー
アロマセラピーの歴史を 紐解く 精油のプロフィール	2	古代～現代 ペパーミント、ベルガモット、ベンゾイン、ミルラ、メリッサ、ユーカリ、 ラベンダー、レモン
アロマセラピーの法律 精油のプロフィール	2	アロマ商品の販売や施術、その他にかかわる法律 レモングラス、ローズ、ローズオットー、ローズマリー、ローマンカモミール
精油のプロフィール	2	プロフィールプリントの記入 (科名、抽出部位、種類、語呂合わせ)
検定対策	19	練習問題 模擬試験 復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(接客販売心理学)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	34	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	接客心理検定3級・準2級取得に向け、顧客心理を知り、卒業後にすぐに役に立つ販売知識を学ぶ
授業の到達目標	接客心理検定取得

具体的内容		
項目	時間数	内容
オリエンテーション	1	授業の意義目的、授業を受けるにあたっての約束
接客心理とは	1	講師による接客デモンストレーション、接客心理の内容説明、接客心理検定について
ロールプレイング	1	ボディランゲージ、挨拶・笑顔・言葉使い等の説明
コミュニケーション テクニック	6	お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析 グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析、グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) 実例からの心理状況分析、グループワーク
情報とコミュニケーション の区分	4	メール、SNS等の非対面コミュニケーションと対面コミュニケーションの情報伝達量、伝達度の違いの理解 接客が最高級スキルであることの証し、満足度と感動を与えることの理解 談話能力・社会言語能力の理解度、コミュニケーションを戦略的に使う接客方法 グループワーク(ロジカルな文章、イメージ文章、グローバル文章とパーソナル文章の作成)
筆記	2	知識の確認
商品属性の研修	6	商品属性の必要性・商品属性名と属性値、トレンド便乗の手法の理解 グループワーク(トレンド商品、属性値、イメージ分析) グループ発表 属性値が創造されるメカニズム、クレームに含まれる属性値と商品改善 お客様の認知とバイアス(歪み)の理解 グループワーク (売れ筋のイメージの絞り込み、類似商品の属性値、新しい属性値創造キャッチコピー作成) 誤解、錯覚、思い込み、バーナム効果
練習問題	1	練習問題を解く(知識の確認)
ブランドを立ち上げる	1	グループワーク(コラージュ作成・修正)
トータル	11	実技試験シミュレーション、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	168	180	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
・ポイント クレンジング ・クレンジング ・スポンジ ・ホットタオル	18	・クレンジングの手技 ポイントクレンジング、クレンジングの注意点、手順、デモ、レッスン スポンジ、ホットタオルの取り扱い注意点・手順・デモ・レッスン ターバンチェック クレンジング拭取りチェック 整肌の方法のデモ・レッスン・チェック 確認テスト
・ポイント クレンジング ・クレンジング ・フェイシャル トリートメント ・拭き取り ・整肌	20	・クレンジング復習 ・6種類の基本手技を理解と手順を覚える 軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、圧迫、振動法、デコルテの注意点・デモ・レッスン・チェック
フェイシャル トリートメント パック	12	・パックの手順、内容 パック素材の説明、パック塗布の注意点・手順・デモ・レッスン・仕上がりチェック パックの拭取り注意点・手順・デモ・レッスン・拭取りチェック 確認テスト
復習①	26	・これまでの手順の復習、確認テスト
検定対策①	12	・手順の復習 ・タイム取り、模擬試験
モイスチュアチェッカー モイストセンス 体組成計	3	・カウンセリング機器の見方、使用方法
スチーマー 洗顔・吸引・酵素パック ・balancingパック・クレイパック	21	・スチーマーの理解、洗顔の理解、アルカリ水を使用した吸引 ・スチーマー、洗顔の解説(テキスト)・吸引、酸素パック ・スチーマー・洗顔、吸引、酸素パック ・スチーマー、洗顔、吸引、酸素パック、balancingパック、リバイタルパックの注意点
復習②	20	・これまでの手順の復習、確認テスト
小顔トリートメント クールパック	36	・小顔トリートメントの効果、手技、手順 ・クールパックの効果、手技、手順 ・確認テスト ・トータル技術の流れを覚える

具体的内容		
項目	時間	内容
検定対策②	59	<ul style="list-style-type: none"> ・検定に合わせた細かい手技の確認 ・カウンセリング、口頭試問レッスン ・フェイシャルの検定の流れ ・確認テスト、模擬試験
イオン導入	12	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に機械を取り扱う為の理解(仕組み、目的、禁忌事項、機械取り扱い説明) ・行程を覚える、効果を確認(準備、セッティング、エッセンス塗布ガーゼ取り扱い、導入の注意点・デモ・レッスン・チェック)
ソルテ	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルテ効果の理解・技術の理解(効果説明、近畿事項説明) ・ソルテフェイシャルの注意点・デモ・レッスン・チェック、振り返り ・確認テスト
イオン導入 クールバック 小顔トリートメント 整肌	16	<ul style="list-style-type: none"> ・手技確認、徹底、復習 ・確認テスト
サロンレベルレッスン	22	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの技術をサロンレベルに向けてレッスン
フリマツール	4	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルのフリマツール、トリートメント
卒業テスト対策	55	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業テスト説明(AEAインターナショナルに沿ったカウンセリングとシート記入の説明) ・卒業テスト対策 ・コンサルテーション・プランニング(状態チェック・シート記入・モデルへの説明) ・プレゼンテーション ・フェイシャル技術

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	174	179	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用する方法的理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
教材確認	4	・教材チェック・名前記入、エステ着・ナースシューズ試着
基礎	3	・エステの仕事の紹介 ・ベッド・ワゴンセッティングの説明 ・タオルの畳み方、ホットタオルの作り方
下肢後面 トリートメント	20	・手技の理解と手順 ドレーピングの注意点・デモ・レッスン・チェック・ボディケアの基本 下肢後面トリートメントの注意点、デモ、レッスン、手技チェック ホットタオル拭取りの注意点、デモ、レッスン、手技チェック
腰背部・肩・上腕 トリートメント	12	・手技の理解と手順 ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 腰背部・肩・上腕注意点・デモ・レッスン 確認テスト
下肢前面 トリートメント	6	・手技の理解と手順 ・下肢前面の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 ・確認テスト
上肢・腹部 トリートメント	12	・手技の理解と手順を覚える ・上肢・腹部の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 ・確認テスト
全身トリートメント カウンセリング	33	・手順の復習(下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上肢→腹部のトリートメント) ・カウンセリングシートの記入、検定の流れ
検定対策・模擬試験①	12	・模擬試験(本番同様の流れで実施)
リフレクソロジー	11	・リフレクソロジーの効果の理解(技術の確認、効果説明、禁忌事項説明) ・トリートメントの注意点・デモレッスン・チェック ・確認テスト
G5	26	・効果と注意事項・技術確認、G5の注意点・デモ・レッスン・チェック ・確認テスト
痩身トリートメント 下肢後面・背面	15	・下肢後面両足、背中痩身トリートメントの理解と手順 ・確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
痩身トリートメント 下肢前面・腹部 上肢	14	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢前面、腹部、上肢痩身トリートメントの理解 ・下肢前面、腹部、上肢痩身トリートメントの注意点・デモ・レッスン・チェック ・確認テスト
痩身トリートメント 全身	12	<ul style="list-style-type: none"> ・痩身全身トリートメントの理解 ・全身痩身トリートメントの注意点・レッスン・チェック ・確認テスト
検定対策・模擬試験②	55	<ul style="list-style-type: none"> ・検定に合わせた細かい手技確認、カウンセリング、口頭試問、全身トリートメント ・検定の流れを理解 ・模擬試験 ・確認テスト
体組成計 採寸写真 個人カルテ作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人カルテ作成 ・体組成計の注意点・デモ ・採寸の注意点・デモ、相モデル採寸 ・効果写真、カルテ作成
採寸 全身痩身トリートメント	4	<ul style="list-style-type: none"> ・採寸の手技チェック ・痩身トリートメントの手技チェック
ソルテ	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルテ効果の理解・技術の理解(効果・禁忌事項) ・下肢後面左右の注意点・デモ・レッスン・チェック ・背中上の注意点・デモ・レッスン・チェック ・下肢前面左右の注意点・デモ・レッスン・チェック ・下肢前面左右の注意点・デモ・レッスン・チェック ・腹部の注意点・デモ・レッスン・チェック ・腕左右の注意点・デモ・レッスン・チェック ・全身のソルテレッスン ・確認テスト
低周波	12	<ul style="list-style-type: none"> ・機械使用注意点、全身の筋肉の理解 ・機械の操作とパットの設置の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ヒートマットの理解・低周波レッスン ・ヒートマット・低周波の注意点 ・低周波・ヒートマットの時間管理 ・確認テスト
サロンレベル	14	<ul style="list-style-type: none"> ・全身痩身トリートメント ・G5、ソルテ ・サロンレベルに向けて複合メニューの効果検証およびレッスン
肩トリートメント	4	<ul style="list-style-type: none"> ・肩周辺のトリートメントの効果の説明、手技の理解と手順 ・肩トリートメントの注意点、手順、デモ、レッスン、チェック
学期末試験対策	6	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンレベルに向けてレッスン ・採寸、ビフォーカウンセリング、全身痩身トリートメント手技徹底チェック ・採寸、アフターカウンセリング、振り返り
バストアップ ヒップアップ	10	<ul style="list-style-type: none"> ・バストアップ、ヒップアップトリートメントの手順 ・確認テスト
ブライダルコース	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルコースの目的理解 ・デコルテのフリマツール〜トリートメント〜パックの手技 ・背中と上肢のフリマツール〜イオン導入〜トリートメント〜パックの手技 ・背中と上肢のフリマツール、呼吸パッド、イオン導入、トリートメントの注意点・デモ・レッスン・チェック
卒業テスト対策	35	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルに適したプランニングと技術の実施 ・対策

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	エステ(アロマ実技)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	46	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	アロマセラピーはエステにおいて身体をリラックスさせ、美と健康を増進しそれを身体・精神両面からアプローチできる自然療法です。エステティックにおいても現在、その効果から重要なものであり多く取り入れられていることから、知識との連動性をもたせながら当該授業でアロマセラピー技術学ぶ。
授業の到達目標	アロマセラピーに関する香りの効果効能の理解とリラクゼーションを与える技術を実践で活かせるレベルにまで到達させることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ボディアロマトリートメント	28	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマトリートメントの効果・技術理解 ・アロマトリートメントの手順のレッスン ・確認テスト
フェイシャルアロマトリートメント	18	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルアロマトリートメントの効果・技術 ・アロマトリートメントの手順のレッスン ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(脱毛)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	6	9	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックにおける脱毛技術、知識を脱毛学から手技の技術習得、機器の正しい使用方法等の授業内容から学ぶ。
授業の到達目標	エステティックにおいて重要な、脱毛の知識の理解、ワックス脱毛・光脱毛技術の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
脱毛理論	1	・脱毛理論の理解
脱毛実技	14	・脱毛機の使用(禁忌事項、機械使用方法、施術～沈静一連の流れ注意点・デモ) ・手技の理解と手順(施術～沈静一連の流れレッスン・チェック) ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(ヘッドマッサージ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	15	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックにおけるヘッドトリートメント(マッサージ)効果効能の知識を実技の中で習得できる授業を行う。ヘッドトリートメントの手技や手順、頭皮に存在するツボの位置を実技の中から理論的にも技術的にも理解させる。
授業の到達目標	エステティックにおけるヘッドトリートメント(マッサージ)の効果効能とリラクゼーションを与える技術を理解し、現場でも活用できる技術にまで向上させることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ヘッドトリートメント	5	・ヘッドトリートメントの効果(効果、禁忌事項、理論) ・手技の理解と手順(ツボ効果の確認・ツボの位置・効果の確認・ヘッドトリートメント)
ヘッドトリートメント～デコルテ	10	・手技の理解と手順 ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	25	12	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステ技術だけでなく、お客様が何を求められているかをヒアリングする力を養う。
授業の到達目標	カウンセリング知識の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
ボディフェイシャル カウンセリング	32	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの目的、基本理解、カウンセリングシート内容 ・カウンセリングの注意点、手順 ・カウンセリングシートの内容説明、記入、解説 ・身体の状態確認の方法 ・肌質・体質判断、アドバイス ・カウンセリング力の向上 ・相モデル、タイム取り
カウンセリング	5	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問の目的、基本の理解、口頭試問の理解 ・カウンセリングシートを用いて口頭試問の実践

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	71	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界について	1	・美容業界の仕事・職種について、体験談
就職活動の流れ	1	・就職活動のスケジュール
インターンシップ・アルバイト	1	・参加の意義、準備
キャリアプランニング①	2	・キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシート
自己分析	2	・自己分析とは、シート作成、人前で話す練習
企業研究①	2	・企業研究とは、志望動機とは
インターンシップ	1	・エントリーシートの書き方
情報収集	1	・SNSと就職活動
就活サイト	2	・説明、登録
応募書類①	1	・必要書類、履歴書の書き方
面接試験①筆記試験①	2	・面接試験、筆記試験を知る、SPI対策
キャリアプランニング②	1	・キャリアプランニングシート作成
求人の見方	2	・情報収集の仕方、用語
企業研究②	2	・業界企業の特徴、志望動機作成等
応募書類②	12	・添え状、封筒、履歴書
面接対策①	18	・集団面接、模擬面接
証明写真	2	・証明写真について
キャリアプランニング③	1	・キャリアプランニングシート作成
応募書類③	8	・履歴書作成
面接対策②	9	・集団面接、模擬面接、弱点強化
フォローアップ	2	・内定先企業調査
卒業前教育	1	・社会人としての意識

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(特別授業)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	5	4	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	SNSブランディング・OBOGセミナー・校内ガイダンス
授業の到達目標	SNSの正しい使い方の理解・業界で活躍する卒業生の話聞き、美容業界で働くことのイメージ・企業説明会、就職活動のイメージができるようになる。

具体的内容		
項目	時間数	内容
SNSブランディング	2	SNSの効果的な使い方、正しい使い方
OBOGセミナー	4	業界で活躍する卒業生
校内ガイダンス	3	興味のあるサロンの方々のお話を聞く

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	2	298	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	自コースのサロン実習の授業を行う。 必修科目で学ぶエステ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン説明	4	サロン実習の概要説明 メイク・エステ・ネイルコースごとのサロン内容説明
サロン基礎	8	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン概要説明 ・オープンからクローズまでの1日の流れの理解 ・身だしなみ、挨拶、接客用語、立ち居振る舞い ・売上目標、入客目標、店販売上の理解 ・受付表、伝票などの書類の書き方 ・レジの使用方法 ・カウンセリングシート、メニュー内容、時間、金額の理解 ・お出迎え、お見送りの仕方 ・電話の出方(ロールプレイングの実施) ・PC入力方法
カウンセリング基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の状況に合わせた提案の仕方 ・理論に基づいた提案の仕方→単価アップ ・効果的な来店ペースの促し方→客数アップ ・効果的なホームケアアドバイス →効果の持続、店販売上アップ ・ロールプレイング ～来店→技術→退店～ ・ロールプレイング ～商品販売の仕方～
サロンシミュレーション	5	<ul style="list-style-type: none"> ・売上目標、入客目標、店販うりあげの把握 ・受付表、伝票 ・復習
実習確認	2	<ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる事態の予想と対策 ・仕事内容の理解、役割
カウンセリング応用	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズ別の販売の仕方 ・ビフォーアフターカウンセリング ・ロールプレイング
サロン技術強化	6	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の不安点、弱点強化
接客応用	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各自問題を解く ・グループで自身の回答の発表をし合いグループで1つの回答を作る ・グループの回答発表 ・クレーム対応マニュアル解説

No.	具体的内容	
	項目	内容
接客テスト	12	・接客テスト
交流授業	6	・サロン実習シミュレーション
復習	6	・サロン復習
プレサロン	12	・友人や他学年をお客様としサロン実習の実施
プレサロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定
サロン実習	175	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	40	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。
------------	---

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	12	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、メイクアップデザインやスキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的に行う。 技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関する正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ベーシックセオリー スキンケアコンセプト 皮膚知識 スキンケアテクニック	2	化粧品の定義、スキンケアの必要性、化粧品の名称、用途、特徴と取り扱いの理解 3ステップによるスキンケアシステム 皮膚の構造と働き スキンケアテクニックの役割、順序、実技用具ポイント
ポイントクレンジング	2	リップクレンジング アイメイククレンジング
ベースクレンジング	2	オイル塗布、オイルの乳化 拭き取り(板書、手技、手順、注意点)
トーンング	2	ローショントーンング(板書、手技、手順、注意点) クリームトーンング(板書、手技、手順、注意点)
アンダーベース	2	板書、手技、手順、注意点、テクニックの提示(ウィッグにて)
ファンデーション、コン シーラー、パウダー	2	板書、手技、手順、注意点
ハイライト・ローライト	2	ノーズシャドー、アイシャドー、ハイライト(板書、手技、手順、注意点) 確認テスト 20分 (ベーシックセオリー～ローライトまで)
ポイントメイクアップ	4	リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュ、アイブロー、チーク、ハードフォーミュラの削り方 板書、手技、手順、注意点
メイクアップ	2	・カラー 色の三属性、トーン、配色、カラーカウンセリング
検定対策	10	検定筆記対策
メイクアップデザイン	12	デザインシート記入の注意点、言葉の表現、色の付け方 デザインシート作成(キュート・フレッシュ・クール・エレガント)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク技術)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	132	86	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、イメージ別のメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。 検定の検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。 また、検定の取得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
技術者としての身だしなみ	1	<ul style="list-style-type: none"> 技術者としての心得を理解、意識付け 姿勢、身だしなみについて
セッティング	6	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名前シール貼り(シールを用意させ、貼らせる) セッティング説明、並べてみる(最終15分以内完成) 相モデルにてセッティングシェーブをかける、ダッカールで髪止める、立ち位置、姿勢 セッティング、姿勢、身だしなみの復習 確認テスト セッティング15分タイム取り
スキンケアテクニック	30	<ul style="list-style-type: none"> リップクレンジングテクニックレッスン アイメイククレンジングのテクニックレッスン リップ、アイメイククレンジングのテクニックレッスン ベースクレンジングテクニック ベースクレンジングの流れのテクニックレッスン オイル乳化のテクニックレッスン 拭き取りのテクニックレッスン ベースクレンジング、乳化、拭き取りレッスン ローショントナーニングテクニック クリームトナーニング、ティッシュオフテクニック 相モデルにてレッスン、クリームトナーニング～ティッシュオフ ポイントクレンジング～クリームトナーニング相モデル 確認テストポイントクレンジング～ティッシュオフまで
メイクアップテクニック	52	<ul style="list-style-type: none"> アンダーベース ファンデーションテクニック フェイスパウダー アンダーベース～フェイスパウダー ノーズシャドーのフィンガーワーク、手順 アイシャドーのフィンガーワーク、手順 ハイライトのフィンガーワーク、手順、テクニック ポイントクレンジング～ハイライト リップブラシ(持ち方、手順) アイシャドー(持ち方、手順) アイラインペンシル(持ち方、手順、テクニック) アイラッシュカーラー(使い方、持ち方、マスカラの塗り方、テクニック) アイブロウ(ハードフォーミュラーの削り方、相モデル) チークメイクアップ(入れる場所の理解、ブラシの持ち方、描き方、相モデル) リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ、チーク 相モデル 確認テスト クレンジング～スキンケア、ベース～フルメイク相モデル

具体的内容		
項目	時間	内 容
リタッチ	3	・リタッチテクニック
カラーカウンセリング	33	・モデルの肌色からカラーベースを判断しカラーを決定 ・モデルの肌色からカラーベース相モデルレッスン ・確認テスト
検定内容①	60	・「キュート」「フレッシュ」「クール」「エレガント」 手技、テクニック、フルメイク相モデルレッスン ・確認テスト
トレンド①	5	・現在のトレンド説明、デモ ・相モデルレッスンチェック
舞台メイク(キャッツ)	28	・特徴説明、デモンストレーション ・相モデル実習、確認、チェック、修正、キャッツメイク応用デザイン
成績		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。	

基本情報			
講義名	コース選択メイク(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	40	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択メイクのサロン実習の授業を行う。コース選択メイクで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	16	6	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、使用する用具用材、機器の正しい使い方を学ぶ。 また、資格取得の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識、使用機器の正しい使い方等について理解することを目標とする。 資格試験に合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ネイル理論	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの歴史・爪の構造と働き ・皮膚・生理解剖 I・II ・マッサージ理論・ツボ理解 ・病気・消毒 ・化粧品学・色彩理論 ・技術体系・ケア手順 ・復習(確認テスト)
ジェル	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理 ・ジェルネイル材料の基礎理論 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止 ・復習、確認テスト
検定対策	6	<ul style="list-style-type: none"> ・復習、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	116	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。検定の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
セッティング・検定概要	6	・セッティング(ラベルシール・名前シール) ・道具確認 ・検定概要(手順)
ハンドトリートメント	1	・ハンドトリートメント手順 ツボ理解
ファイリング	9	・ハンドの仕込み方 ・ファイリング・シャイナー(爪の形と種類、ファイルの違い、手指消毒、ラウンドのストローク) ・爪の形の削り方(オーバル・ポイント)
プッシャー	6	・使用方法、持ち方、支え方、動かしかた ・手指消毒～ファイリング～プッシャーの流れ
ニッパー	15	・使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かしかた ・手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ実践
赤ポリッシュ	14	・使用方法、持ち方、刷毛の状態、塗る手順 ・指の支え方、スキндаウン、修正、オフ ・確認テスト
アート	5	・絵具、筆、ガラスボウル、パレット、筆の動かしかた
ケアカラートータル復習 検定対策	60	・ケア復習(種子消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ) ・フィードバック、弱点強化 ・筆記・過去問題、模擬試験 ・相モデル、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	92	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。ジェルネイル技能検定の初級の対策も行い、用具用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ジェル初級検定	30	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング(ラベルシール) ・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法) ・検定概要(手順) ・赤ジェル 持ち方、支え、動かし方、サンディング、ダストオフ、油分除去、ピーコック除去の仕方 確認テスト ・初級トータル練習(相モデル) ・検定本番シミュレーション
カラーリング	5	・ジェルカラーリング、ジェルトレンドアート
グラデーション	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルグラデーション ・トップジェルまで通し ・確認テスト
フレンチ	26	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンチ バランス・ライン取り ・トップジェルまで通し ・確認テスト ・フォームのかけ方(種類、切り方、角度、相モデル)
スカルプチュア	21	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーエッジ(クリアファイル、ハンド、自爪) ・削り・仕上げ ・弱点強化、確認テスト
ジェル中級検定	28	<ul style="list-style-type: none"> ・手順確認 ・本番シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	40	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択ネイルのサロン実習の授業を行う。コース選択ネイルで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	60	10	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	サービス接客検定合格。 卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	4	サービススタッフに求められる資質
専門知識	4	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用語、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	4	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	4	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	3	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	3	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	5	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション
主体性 I	3	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	3	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	3	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	3	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

